

実践事例

小学部3・4年／教科別の指導：図画工作

『自分から、作りたい形を決めて、友だちと教え合いながら新聞を丸めたり、ちぎって貼ったりしよう』

1. 生徒の実態と望む姿

- ・対象児童は小学部3・4年生(男子4名、女子2名)
- ・自分からすすんで取り組む、友だちのしている様子や教師の手本を見て仕方を理解してから取り組む子などの様子が見られている。また、友だち同士で話し合っって昼休みの活動を決めるなど友だち同士でのやりとりをする姿も見られている。

そこで本題材では以下の望む姿を設定した

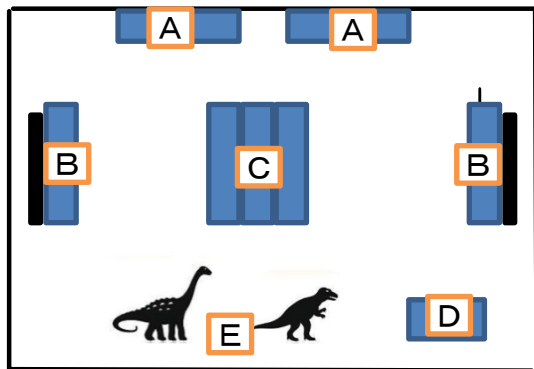
- 友だちと作り方を教え合うなどやりとりをしながら作ってほしい
- ・形に注目して、新聞紙を丸める、ちぎるなどして作った形を組み合わせて怪獣のパーツを作ってほしい

2. 教材の概要 教材：『怪獣づくり』

- ・怪獣の骨組みの台に、新聞紙を丸めたり、ちぎったりして作ったものを貼って肉付けしていく
- ・怪獣を想像して、骨組みにつける部位に応じて形を工夫したり、友だちと話し合ったりしながら活動する

3. 授業のポイント

ポイント1 友だち同士で作り方を教え合ったり、友だちの様子を見ながらパーツを作るための工夫



【友だち同士で教え合ったり友だちの様子を見ながら作るためにはどうすればいいかな？】

- ・形を決める→形を作る→作った形を怪獣に付ける活動ごとに場所がわかるようにし、指導のしやすさと友だち同士の作り方を見合えるように机を配置した
- ・怪獣の骨格は友だちのしている様子を見たり真似したりして作る、また、授業の終わりに見合うために並べて配置する

A: 材料用机 B: 形を考える机 C: 制作する机
D: 制作する机 E: 怪獣の骨格

授業構想チェックシート 内容チェック 学習環境 場面設定について①②
意欲チェック 学習環境 場面設定について④
学習環境 課題、目的、役割、決まりなどの設定について②

ポイント2

自分から作りたい形を決めてから作るための教具の工夫



A: 各部位ごとの怪獣パーツ
B: 怪獣パーツボックスから作りたいパーツを選びボードに貼った怪獣のシルエットに貼る
C: 各部位ごとに作ったものを怪獣の骨格に貼り付ける

【形に注目し、作りたい怪獣のパーツを決めて作るためにはどうすればいいかな？】

- ・怪獣の各パーツごとに、いろいろな形を準備し、子どもたちが自分の作りたい形を考えたり、伝えたりできるようにする
- ・怪獣の各パーツをイメージできるようにパーツボックスのイラストから作りたいパーツや形を選んで貼り付ける
- ・子どもが怪獣作りで全体像のイメージを持てるように、体の骨格が動く骨組み。一次ではこれに新聞紙を丸めたり、ねじったりして肉付けをし、二次からはいろいろな部位を付けていくようにする。

授業構想チェックシート 内容チェック 学習環境 教具について②③④⑤